

## 今宮駅(JR環状線)①

## 今宮戎から木津市場、大阪球場跡へ

「大阪あそびマップ集」  
その1 No.029

今宮戎駅(南海高野線) なんば駅(地下鉄御堂筋線・四つ橋線・千日前線 南海本線・高野線)

JR難波駅(JR大和路線) 大阪難波駅(近鉄難波線・阪神なんば線) 大国町(地下鉄御堂筋線・四つ橋線)

## JR今宮駅

開業時に駅界隈が今宮村だったことで今宮駅と名づけられました。駅から西の方角に歩いていくと、今宮戎神社に至ります。

## ①今宮戎神社

推古天皇8年(600)、聖徳太子が四天王寺の建立にあたり、西方の鎮護としてお祀りしたといわれます。平安後期から開かれた四天王寺西門前「浜の市」の守り神にもなりました。毎年催される十日戎は元禄年間(1688~1704)に始まったといい、寛政6年(1794)の『住吉名勝図会』には人波でごった返す境内の様子が描かれています。



## ②廣田神社

アカエイが守り神として信仰されています。昔の今宮村は漁師町で、毎年正月に御所へ鮮鯛を貢ぐ古例があり、「禁裏御所御厨子所御着物御用」という社宝が残っています。

## ③木津市場

江戸時代の大坂の青果取引は天満青物市場が官許を受けて独占していましたが、木津からは交通の便が悪く、正徳年間(1711~16)のころより、自然と木津界隈に百姓市が生まれました。その後、文化7年(1810)に大坂代官・篠山十兵衛景義の斡旋で木津市場が官許されました。村

民たちは篠山の威徳を貴び、生き神様として篠山神社を難波八阪神社の境内に奉祭しています。

## ④鮪川くり船発祥の地

鮪川は大阪三郷の南端を西から東に流れ、木津川に合流していた川で、聖徳太子が四天王寺建立の際、諸国より木材をこの海岸に集め、運搬のために掘った運河といわれています。明治11年(1878)鮪川と難波新川の貫通工事中に古墳時代の全長12メートルほどのくり船が発掘され、それを記念して碑が建てられました。

## ⑤大阪球場記念プレート

昭和25年(1950)、煙草工場の跡地に建設。南海ホークスの本拠地で、狭い球場でしたが、南海黄金時代(鶴岡一人監督時代の通算1773勝1140敗81分・勝率6割9厘は日本プロ野球史上1位)



のエース投手・杉浦忠、皆川睦雄らの絶妙な制球力はこの球場の狭さによって培われたという伝説もあります。平成10年(1998)に解体され、平成15年(2003)に大型商業施設・なんばパークスがオープンしました。

## ⑥難波御蔵・難波新川跡の碑

享保17年(1732)の大飢饉に際して、天領からの年貢米を収納して、飢饉時の救援米や幕臣への扶持米を備蓄するため幕府直轄の米蔵(難波御蔵)が設置されました。難波新川は御蔵への輸送路として道頓堀川大黒橋下から開削されました。

## 南海・地下鉄なんば駅

